



FOUNDATION FOR CULTURAL HERITAGE AND ART RESEARCH
公益財団法人 文化財保護・芸術研究助成財団

令和8年熊本地震 文化財復旧のため ご支援を

目標
1,000万円

地域に根ざす、重要な文化財。
この先長きにわたる復旧・復興には、多くの方からの応援が必要です。



松浜軒



吉田松花堂



江藤家住宅

ご支援の方法

クラウドファンディング「READYFOR」のページからご寄付いただけます。
また、クレジットカードなどでの寄付が難しい方のために郵便局と銀行からのご支援もお受けしています。

郵便振替

振替番号
00170-1-499266

加入者名

公益財団法人文化財保護・芸術研究
助成財団

銀行振込

三井住友銀行 上野支店
普通8399622

口座名義

公益財団法人文化財保護・芸術研究
助成財団

※銀行振込の場合、下記財団まで事前に
御連絡をいただけますと幸いです。

READYFOR (クレジットカード等)

令和8年熊本地震 | 被災文化財へのご
支援を (八代市・大津町・熊本市)

<https://readyfor.jp/projects/bunkazai-kumamoto>



公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団
〒110-0007 東京都台東区上野公園12-50
TEL.(03)5685-2311 FAX.(03)5685-5225
<https://www.bunkazai.or.jp/>

文化財サポーターズとは？

日本の文化財を次世代につなげるために誕生した、官民共創による
寄附促進事業です。(公財)文化財保護・芸術研究助成財団と文化
庁等で実施しています。寄附することをゴールではなく文化との新
しいつながりのスタートとすることを目指します。



今回の支援対象文化財

文化財の復旧にあたっては、その多くを公的な補助でまかなうことができますが、一部必要になる文化財所有者の個人負担額を少しでも軽減するため、このたびご寄付を募っています。



〈名勝〉 旧熊本藩八代城主浜御茶屋（松浜軒）庭園

近年修繕したばかりの長堀以外、ほとんどすべての建物・堀などが全壊する甚大な被害が発生。建物の倒壊だけでなく、庭園内の池にも地割れが発生。池が干上がり、鯉が全滅するなどの被害も。すべての復旧には、この先10年もの長い期間を要する見込み。

【所有者からのメッセージ】

元禄元年（1688年）創建以来風雪に耐えて幾星霜、その維持管理には関係各位の知恵と努力が功を奏し、感謝いたしております。

しかる処、今回の令和8年熊本地震により、書院、大広間、巽蔵、大蔵、古文書蔵等、ほとんどの建物が倒壊してしまいました。今後、国名勝として再建すべく、保存修復工事が急務となります。今回被災した建物群の保存修復工事には多額の経費を伴いますが、各位のご理解とお力添えを賜り、城下町八代の歴史と共に末永く大切に継承して参り度く存じます。つきましては、ご多端の折甚だ申し兼ねますが趣旨にご賛同の上、何卒ご奉賛賜りますようお願い申し上げます。

松浜軒（松井神社 代表役員宮司、松井文庫 代表理事）
松井葵之（松井家第14代当主）



〈重要文化財〉 江藤家住宅

最古の建物「中の蔵」（1775年）の東側漆喰壁が脱落したほか、複数の建物において壁の崩落・亀裂などが発生。

10年前の熊本地震では建物が全壊したが、その後、復旧・耐震補強を進め、約3年前に工事が完了したばかりだった。このたびの復旧には2年ほどを要する見込み。

【所有者からのメッセージ】

平成28年(2016)の熊本地震では、全壊の憂き目に遭いましたが、無事約7年にわたる事業を終え、耐震性をはじめ弱点を改善し、「生きた文化財」として適応できるよう、文化財保護とともに住みやすいように復旧整備されたばかりです。

ところが今回、10年目にして、またも罹災。主として、我が家では最古の建物である中の蔵（安永4年・1775年建立）が被害を受け、別添写真のとおり、東側漆喰壁が脱落しました。江藤家全体としては、前回よりはお陰様にて小規模ではありますが、それでも、改修に要する日数は2年とのことでした。

事情ご賢察の上、種々ご高配賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

江藤家十一代当主
江藤 武紀



〈重要文化財〉 吉田松花堂

土蔵の屋根を支える梁が落ちかけており、危険な状況。そのほか建物の随所でも、壁の剥落などの被害が発生し、道路の通行にも影響を与えている。土蔵内には未指定文化財なども多く所蔵されており、それらの救出もあわせて必要。復旧には数年を要する見込み。

【所有者からのメッセージ】

吉田松花堂は長崎県諫早出身の吉田順碩を初代とし、文政13（1830）年頃より伝統薬「諸毒消丸」の製造を家業として営んでまいりました。

10年前の熊本地震では柱が傾き、屋根瓦が落ち、土壁が崩落するなど大規模半壊に相当する被害を受けました。しかし当時はまだ重要文化財の指定を受けていなかったため、莫大な修理費をまかなうことができず、被災した部分の多くが未修理のまま残されています。

そこに今回の地震が重なり、特に市道に面する土蔵と土堀に崩落の危険性があるとのことで、安全のため急ぎ修理しなければならない事態となりました。

多くの方が被災されご不便な生活を強いられているなか恐縮ではございますが、何卒ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

吉田家八代当主 吉田 季代